

関係者各位

仲秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて本校では、下記の研究主題を掲げ、子どもたちが生活と学校の学習を結びつけ、子どもたちが学びの意味を実感できるような授業づくりに取り組んでまいりました。子どもが情動を自覚する時、知識は彩られ、子どもたちにとって価値あるものとなり、深い学びが実現されるのです。

ご参会いただく皆様と共に、今後の教育の在り方について議論を深められますことを願いつつご案内申し上げます。

京都教育大学附属桃山小学校校長 児玉 一宏

京都教育大学附属桃山小学校 教育実践研究発表会

開催日 令和7年11月14日(金)

研究主題

社会とのつながりから思いをめぐらし
自己の課題を追究する子の育成
—子どもが情動を自覚する授業デザイン—

◆主催

京都教育大学附属桃山小学校



1. 日程

令和7年11月14日(金) 9:15~16:30(9時受付開始)

9:00 9:15 9:40 9:50 10:35 10:45 11:30 13:00 14:30 14:45 16:30

| | | | | | | | | | |
|----|---------------|----|-------|----|-------|----|-----|----|-------------|
| 受付 | 研究 全体 会 | 移動 | 公開授業1 | 移動 | 公開授業2 | 昼食 | 協議会 | 移動 | パネルディスカッション |
|----|---------------|----|-------|----|-------|----|-----|----|-------------|

2. 全体会 9:15~9:40

基調提案 研究主任 宮川 史義

社会とのつながりから思いをめぐらし自己の課題を追究する子の育成

-子どもが情動を自覚する授業デザイン-

3. 提案授業1 9:50~10:35

| 学年 | 教科・領域 | 学びの材 | 授業者 |
|----|-------|--------------|--------|
| 2年 | 算数 | かけ算 | 西村 祐太 |
| 4年 | 国語 | ごんぎつね | 栗山 敬悟 |
| 5年 | 社会 | 私たちの生活と工業生産 | 西原 久美子 |
| 6年 | そうぞう | 世界から日本を見つめよう | 形木原 聡 |

4. 提案授業2 10:45~11:30

| 学年 | 教科 | 学びの材 | 授業者 |
|----|----|-------------------|-------|
| 1年 | 音楽 | 売り声をつくろう | 高橋 詩穂 |
| 3年 | 国語 | ちいちゃんのかげおくり | 和田 博文 |
| 4年 | MC | プレゼンテーションで考えを伝えよう | 稲垣 希望 |
| 6年 | 社会 | 江戸幕府と政治の安定 | 宮川 史義 |

5. 協議会 13:00～14:30 提案授業に関する協議

| 学年 | テーマ及び提案者 | 指導助言 |
|------------|--|---|
| 国語 | <p>子どもが情動を自覚する 国語科の授業デザイン -文学作品の魅力を追究する 国語科のパフォーマンス課題- 和田 博文／栗山 敬悟</p> | <p>京都教育大学 教育学部国文学科 天野 知幸 先生</p> |
| 算数 | <p>子どもが情動を自覚する 算数科の授業デザイン -子どもの「したい」を引き出す 算数のパフォーマンス課題- 西村 祐太</p> | <p>京都教育大学 教育学部数学科 黒田 恭史 先生</p> |
| 社会 | <p>子どもが情動を自覚する 社会科の授業デザイン -子どもが心を動かす材とは何か パフォーマンス課題をとおして- 西原 久美子 / 宮川 史義</p> | <p>京都教育大学 教育学部社会科学科 小栗 優貴 先生</p> |
| 音楽 | <p>子どもが情動を自覚する 音楽科の授業デザイン -生活科との合科的な指導によって 学びの文脈をつくりだす試み- 高橋 詩穂 / 池内 裕美子</p> | <p>京都教育大学 教育学部音楽科 清村 百合子 先生</p> |
| そうぞう MC | <p>子どもの探究の価値と 情報活用能力の育成 稲垣 希望 / 形木原 聡</p> | <p>関西大学 総合情報学部 黒上 晴夫 先生</p> |

6. パネルディスカッション 14:45～16:30

講師の先生方と本校教員によるパネルディスカッションを行います。

講師 **黒上 晴夫** 先生 関西大学 総合情報学部

講師 **山本 はるか** 先生 滋賀大学 教育学部

申込方法

本校ホームページの「研究発表会申し込みフォーム」より送信。

◎参加費は、2500 円です。(資料代含む)



招待対象の方(参加費のみ、無料)

- ・京都府・京都市内の公立学校に所属する教員(教育委員会、教育センター等含む)
- ・国立大学、および、その附属学校教員
- ・創造性教育を語る会(本校離任教員) ・京都教育大学に所属する教職員

なお、大学学部生、および、院生(現職院生は除く)の方々は、参加費は無料です。資料代は別途必要です。

◎上記の内容は、今後の状況によって変更する場合があります。

参加者に必要な情報・お知らせを本校ホームページにて随時更新していきますので、事前にご確認ください。

お問い合わせ先

〒612-0072 京都市伏見区桃山筒井伊賀東町 46(附属桃山小学校)

T E L 075-611-0138 E-mail momosyo@kyokyo-u.ac.jp

HP <http://www.momosyo.com/>